

2014 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 3 月 6 日作成)

小委員会名	住宅の火災安全小委員会	主 査 名：玉川 祐司 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	防火委員会	委員長名：山田 常圭 主 査 名：
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	住宅及び低層木造建築の火災事情、火災安全性能全般の実態を把握して、住宅・木造建築の火災安全に関して学会的取り組みが必要な課題の抽出し、研究テーマとしての整理を行う。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有り	
	主査：玉川 祐司 (プレハブ建築協会) 幹事：安井 昇 (桜設計集団) 委員：長谷見 雄二 (早稲田大学)、遊佐 秀逸 (ベターリビング)、山田 誠 (日本住宅・木材技術センター)、泉 潤一 (三井ホーム)、古川 容子 (日本建築センター)、蛇石 貴宏 (住友林業)、上川 大輔 (森林総合研究所)、糸毛 治 (北海道立総合研究機構)	
設置 WG (WG 名：目的)	住宅部材防耐火性能 WG：住宅部材の防耐火性能に関わる多岐にわたる課題の学術的解決方策の検討が主目的。WG において具体的検討を行い直属委員会「住宅の火災安全小委員会」へフィードバックする。 伝統的建造物・伝統様式住宅 WG：歴史的市街地の伝統的建造物の保存活用のための防火対策、伝統様式建築物の新築に係わる防耐火の課題について検討する。	
2014 年度予算	130,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (住宅部材防耐火性能WG と合同開催・単独開催は無し)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 木質耐火構造の区画貫通部仕様について実験を重ね分析・その解決方法につ いて議論を行った。 2. 討議・検討を行った結果、標準仕様を決める為の実験を行いその仕様、具体 的試験方法 (案) を誘導した。仕様は「(仮)大規模木造建築物の防耐火設計と避 難安全マニュアル」へ反映予定。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 2. 3.